



内閣サイバーセキュリティセンター  
National center of Incident readiness and  
Strategy for Cybersecurity

# 2015年度 セブター訓練について

2016年3月25日

内閣官房 内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)

# セプター訓練（第10回）の概要

## 訓練の概要

セプター訓練は、『重要インフラの情報セキュリティ対策に係る第3次行動計画』において、内閣官房（NISC）が、定期的及びセプターの求めに応じ、セプターの情報疎通機能の確認等の機会を提供するものとして位置付け。

また、各重要インフラ分野内における『縦』の情報共有体制の確認・強化を図るセプター訓練と、重要インフラ分野間の『横』の情報共有体制の確認・強化を図る分野横断的演習とが相互に連携・補完することで、『縦』方向と『横』方向双方の情報共有体制を強化し、官民連携による重要インフラ防護の推進を図るもの。

### ①目的

- (1) 関係主体間の情報疎通機能確認を通じた情報共有体制の実効性検証と、重要インフラ防護能力の維持・向上
- (2) 各主体、各経路における既存の手順等の改善、解決すべき課題の抽出

### ②参加者

情報通信分野（電気通信、放送、ケーブルテレビ）、金融分野（銀行等、生命保険、損害保険、証券）、航空分野、鉄道分野、電力分野、ガス分野、政府・行政サービス分野、医療分野、水道分野、物流分野、化学分野、クレジット分野、石油分野の計18セプター

参加事業者等（参加事業者等数：1,658団体）

金融庁、総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、NISC

### ③実施期間

2015年8月から11月まで（実施日時はセプターごとに決定）

### ④実施内容（基本的な訓練の流れ）

- (1) 電子メールにて、NISCから所管省庁経由で各セプターに情報提供を発出。
- (2) 各セプターは、参加事業者等に対し情報提供及び参加事業者等の受信確認を実施し、所管省庁経由でNISCへ報告。
- (3) 訓練実施後、得られた気付き・課題等を調査票（アンケート）に記載し提出。

# 今年度のセプター訓練（第10回）の特徴

## 1. 全てのセプター(18セプター)における訓練の実施

※ 2014年度セプター訓練は、14セプターのみ実施。

## 2. IT障害対応を念頭においた実態に即した訓練の実施

### ① 抜き打ちによる訓練の実施

(1) 実施日時を指定しない訓練（5セプター）

(2) 実施日のみ指定し、時刻は指定しない訓練（6セプター）

※ 2014年度、抜き打ちによる訓練は、1セプター（実施日のみ指定し、時刻は指定しない訓練）のみ実施。

### ② 各分野の個別課題や要望等を踏まえた訓練の実施

(1) 電話及びFAXのみの訓練（電子メールが使用できないことを想定）

(2) 仮想事業者からの情報連絡を踏まえたNISCからの情報提供訓練（情報連絡への習熟を意図） 等

## 3. 昨年度の訓練結果により得られた気付き等の検証及び分野横断的演習との連携

### ① 昨年度の訓練結果により得られた気付き等の検証

情報伝達ツール（共有システム）に支障が発生した場合の代替手段の検証 等

※ 2014年度訓練では、訓練実施中に情報伝達ツールのIT障害が発生。その結果得られた気付き（代替手段の検討・整備等を実施）

### ② 分野横断的演習との連携

NISCから訓練の模擬情報を展開する際、添付資料として情報共有体制の理解・浸透のための参考資料を送付

※ 2014年度分野横断的演習にて得られた気付き（情報共有体制の誤認を思わせる意見多数有り）

# セプターの情報共有体制の状況（事前アンケート調査結果より）

## 1. 夜間・休日において情報提供できる体制になっているか。

- ① 情報提供できる(6セプター)
- ② 情報提供できない(9セプター)
- ③ その他(4セプター)

### 主なコメント等

- ・個人所有の携帯電話の情報をリスト化して共有している
- ・できる事業者とできない事業者がある
- ・連絡体制上は夜間・休日の対応が可能だが、訓練は不可 等

## 2. セプター事務局とセプター構成員との間、情報共有に係る取り決めを定めた文書(情報共有するための様式や重要度による情報共有範囲の設定等)等を整備していますか。

- ① 整備している(11セプター)
- ② 整備していない(6セプター)
- ③ その他(1セプター)

### 主なコメント等

- ・情報提供の様式は原則、NISCの様式を使用している 等

## 3. セプター構成員に対する情報共有への理解・浸透策について、実施しているものはありますか。

- ①特に実施していない(9セプター)
- ②定期的に説明会を実施(1セプター)
- ③人事異動の際、新任者に対し取り決め文書等を配布(1セプター)
- ④定期的に関係者に対し取り決め文書等を配布(3セプター)
- ⑤その他(6セプター)

### 主なコメント等

- ・会員事業者向けHPIにより関連文書の掲載・情報提供を実施
- ・定期的に意見交換会を実施
- ・制度改正時等に関連文書を送付 等

## 4. セプター訓練以外に、セプター内において、独自の情報疎通確認訓練を実施していますか。

- ①特に実施していない(15セプター)
- ②年1回実施している(2セプター)
- ③年2回以上実施している(0セプター)
- ④その他(1セプター)

### 主なコメント等

- ・地震等により応急支援が必要な場合に備え、衛星電話による連絡網を設置しており、毎月、伝達訓練を実施している 等

# セプター訓練の結果①（情報受信確認状況等（総括））

参加者全てに受信確認できた	12 セプター	全ての参加者には確認できなかった	6 セプター
内訳(到達状況)		内訳(受信確認率)	
セプターから送信後～30分	1セプター	91%以上	1セプター
セプターから送信後～1時間	1セプター	81%以上90%以下	2セプター
セプターから送信後～3時間	3セプター	71%以上80%以下	1セプター
セプターから送信後～当日	3セプター	61%以上70%以下	2セプター
セプターから送信後～二日目	3セプター		
セプターから送信後～三日目	1セプター		

# セプター訓練の結果②（訓練実施後のアンケート調査結果より）

## 1. 前回（第9回）の訓練で得られた気付き・課題等について、今回の訓練で検証することが出来たか。

### ① 検証することが出来た（8セプター）

主な内容

- ・ 代替手段による情報提供
- ・ 登録連絡先の複数線化（モバイルメールアドレス）等

### ② 検証することが出来なかった（6セプター）

主な内容

- ・ 前回の訓練で、気付き・課題なし
- ・ 連絡体制が課題であったが、組織変更により体制変更になったため  
等

### ③ 前回の訓練に参加していない（4セプター）

## 2. 今回のセプター訓練の結果を踏まえ、どのような気付き・課題等があったか。

### ① 連絡手段（メール・電話等）（7セプター）

主な内容

- ・ モバイルメールアドレスへの配信の必要性
- ・ メール・FAXによる連絡の他、電話による受信確認の必要性
- ・ 高負荷に耐えられる新たな配信ツールへの移行 等

### ② 連絡先の整備（5セプター）

主な内容

- ・ 人事異動等の際の連絡先の確認
- ・ 各部署3名以上選任し、人事異動の都度見直しを実施 等

### ③ 代替手段及び連携ルート（5セプター）

主な内容

- ・ 電話・FAXの必要性 等

### ④ 情報提供の迅速性（4セプター）

主な内容

- ・ 緊急用携帯アドレスを含めることの必要性
- ・ 常に受信を意識してもらえよう配慮 等

### ⑤ 情報共有の取り決め及び周知・浸透（2セプター）

### ⑥ その他、訓練全般（5セプター）

主な内容

- ・ 訓練参加事業者の拡大
- ・ 情報伝達の中継点が多く正しく情報が伝達しているか 等

### ⑦ 特になし（3セプター）

# セプター訓練の結果③（訓練実施後のアンケート調査結果より）

3. 現状の情報共有の課題を感じている点はあるか。あれば検討の方向性について聞かせてください。

① 突発的な対応が発生した際、事業者が情報を迅速かつ確実に受信できない可能性がある。

- ・特に課題と感じている点はない(11セプター)
  - ・中長期的な課題として検討(7セプター)
- 主な内容
- ・ 平時用と緊急時用の配信リストの設定及び別の伝達手段の設定
  - ・ 迅速な登録情報の変更手続の周知徹底
  - ・ 勤務時間外の体制の検討及びモバイル配信手段の検討 等

② 主たる担当が不在の際、事業者が情報に確実に受信できない可能性がある。

- ・特に課題と感じている点はない(12セプター)
  - ・分野横断的演習までに検討(1セプター)
  - ・中長期的な課題として検討(5セプター)
- 主な内容
- ・ 受信者の複数設定の検討 等

③ 情報の重要度により、事業者が共有範囲の違いを理解していない可能性がある。

- ・特に課題と感じている点はない(14セプター)
  - ・中長期的な課題として検討(4セプター)
- 主な内容
- ・ 基本的に「特定分野・関係者限り」の情報の扱いとなるが、案件毎に事業者のプレス発表のタイミングと兼ね合いの検討が必要 等

④ 夜間・休日において、事業者が情報に確実に受信できない可能性がある。

- ・特に課題と感じている点はない(7セプター)
  - ・中長期的な課題として検討(11セプター)
- 主な内容
- ・ 確実に受信確認を行えるのが平日の日中に限られるため、緊急時の体制・手法等の検討 等

⑤ 事業者が、情報共有のルール等に習熟していない可能性がある。

- ・特に課題と感じている点はない(12セプター)
  - ・分野横断的演習までに検討(1セプター)
- 主な内容
- ・ セプター事務局にて内規を見直し、事業者へ再周知 等
- 
- ・中長期的な課題として検討(5セプター)
- 主な内容
- ・ 情報セキュリティ対策に関する意識の徹底 等

# セプター訓練の結果④（訓練実施後のアンケート調査結果より）

## 4. 訓練の感想及び意見等(セプター)

- 情報連絡の流れを確認でき、有益。
- 訓練を繰り返していくことが必要。
- 訓練実施日を明示しないことで、適切に情報把握が可能かどうかを検証できた。
- 訓練実施日時を明示しないことで実践的な訓練となり、改めて連絡体制を見直す良い機会となった。
- 緊急度が「緊急」の場合の情報共有ルートとして考えていたモバイル端末向けのメーリングリストは、情報の伝達に制約があることが浮き彫りになるなど、問題点の洗い出しができた。
- 緊急度が非常に高い情報を連携するのであれば、各セプターが個別に、メーリングリストや掲示板などの情報伝達システムを構築するのではなく、NISCにおいて情報伝達システムを構築し、直接事業者を登録するのがよいのではないか。

等

## 5. 訓練の感想及び意見等(所管省庁)

- 全事業者からの受信確認ができるよう、情報共有体制を見直しつつ、訓練を継続して実施していきたい。
- セプター加盟事業者が大幅に増加しているので、情報セキュリティに対する意識向上に係る取組を一層進めていく必要性が感じられた。
- 訓練実施日を明示しなかったことで、各事業者が主担当者の不在時や夜間・休日時にいかに対応すべきか検討する良い機会となった。
- より実践的な訓練を行うとの観点から、時間のみでなく、実施日も含めて、抜き打ちで実施する方向性が適当。
- 各関係者の協力が得られればの話であるが、訓練を業務時間外や休日に実施することも検討すべき。
- 連絡体制は、2団体を通して事業者に到達する体制となっており、伝達の寸断や遅れの原因になっていると推察するため、体制の見直しを検討する必要がある。
- 毎年行われるセプター訓練の結果について、評価をしていただき、他分野との比較などをしていただければ各分野の情報共有体制の改善につながるのではないか。

等



# セプター訓練の総括及び今後の方向性

## ◆訓練の総括

- ① 各セプターにおいて、これまでの訓練参加実績、情報共有体制（構成員数、手段、伝達ルート等）状況及び訓練要望等を踏まえた訓練を実施することにより、多くの気づきや課題等を得られたことで、訓練の有用性をあらためて確認できた。
- ② アンケート調査の結果、緊急時における情報共有の体制や手法等に課題を感じているセプターが多く、各セプターにおいて中長期的な課題として検討すべきものと思料。

## ◆今後の方向性

- ① 重要インフラ防護能力の維持・向上のため、定期的に訓練を実施することは重要であり、NISCは引き続きその機会を提供。
- ② 今後のセプター訓練においても、IT障害対応を念頭においた実態に即した情報共有訓練となるよう、今回の訓練結果やセプターの情報共有体制の現状を考慮し、セプター毎に、具体的な訓練内容を検討していく。